



現地での人材育成の経験を生かし アジア各国で教育支援事業を展開

ブレインワークスは、ベトナムが今ほど注目される前から現地法人を設立し、システムエンジニアを育ててきた。日本の官公庁の業務管理システムなど、次々と大型開発案件をこなしている。

また、人材育成の経験を生かし、アジア各国におけるビジネス教育サービスという新事業も生み出した。

ブレインワークス 東京都品川区

ベトナム人は肌が合うので一緒に働きやすい

ブレインワークスは中小企業支援のコンサルティング会社で、特に中



情報関連の先端企業が集まるソフトウェアパーク内にブレインワークスが設立したベトナム現地法人本社で働くベトナム人技術者たち。

小企業のIT（情報技術）戦略の支援と人材育成に強みを持つ。社員の約3割はベトナム人や中国人などアジア各国の人材が占める。ベトナムとのかわりには、1999年に始まる。ソフトウェアを開発して日本へ納入するオフショア開発拠点としてジーイービービーベトナムをホーチミンに設立したことがきっかけだ。

93年にブレインワークスを創業した近藤昇社長は、優秀な人材を育ててアジア経済の発展に貢献したいという思いを抱き、創業間もない頃からアジア各国の留学生を受け入れ、ビジネス教育の支援を行ってきた。この経験

から肌で感じたことがある。

「ベトナム人は素直だが、中国人と比べておとなしいなどと言われますが、人間ですから基本は同じ。叱られれば悔しいし、ほめられればうれしいと感じる。もちろん優秀な人材は国籍に関係ありません。ただ、ベトナム人と日本人は感覚がよく似ている

点がいくつもあるのです（近藤社長）
国土面積と人口が日本と大差なく、仏教も根付いている。勤勉で向学心の高い人も多い。日本人と肌が合うベトナム人は、一緒に働きやすいビジネスパートナーといえる。また、ベトナムは国を挙げてソフト産業を育てようとしている。トップの国立大学で情報工学などを学んだ優秀な学生がソフト技術者を目指す。超エリートを確保しやすい点も近藤

社長にとって魅力だった。



現地法人ジーイービービーベトナムが入っているホーチミン市内のビル。

人材教育が進出成功のカギ

ブレインワークスが進出したのは、ベトナム南部のホーチミン市郊外にあるIT関係を中心とした工業区「Q.T.S.C」（クアンチュン・ソフトウェアパーク）。社会基盤も整い、会社設立に必要なライセンス契約が無料であるのが好都合だった。



研修ではコンピューターのソフト開発技術に加えて日本語も教える。

現地法人の立ち上げに際して一番苦労したのが、日本語教育だった。日本の企業から発注されたソフト開発では、どうしても日本語を使用したプログラミング技術が必要になる。また、日常会話はもちろん、漢字の読み書き、IT用語、仕様書など、日本語でのやりとりが不可欠だ。そこで、日本語による徹底研修を行ない、仕事でもできるだけ日本語で会話をするようにした。従業員が増えた現在では、日本語の専属講師を配置し、より質の高い日本語教育を行なっている。さらに、進出時期に苦勞して育てたベトナム人社員が、新人社員を日本語で技術指導をするなど、好循環が生まれている。

品物は売れない方がいいとすら思っている。作る量が少なくても済み、作業が楽だからだ。こうした人材に、よいものを作ればたくさん売れる、たくさん売れば会社が儲かり、会社が儲かれば給料も上がるということを教え、前向きに働くようになる。ベトナムも同様で、教育を担当するスタッフの力量が問われる。「人件費の安さを目当てに進出する日本企業も多いのですが、きちんと人材を育てる気持ちがあれば成功はおぼつかないでしょう。現地法人の立ち上げ時は、日本でマネジメント（人事管理）経験のあるエース級の人材を送り込むべきです」と近藤社長は強調する。

こうした方針の正しさを証明するように現地法人の業績は好調で、日本の官公庁の業務管理システムやメーカーの販売管理システム、サービス業の情報提供サイト会員管理システムなど、大型案件を次々とこなすようになった。

現在、約1000人の現地社員がいるが、事業拡大に向けて雇用を増やす計画だ。新人社員の給与は能力に応じて大卒平均賃金の1.5倍まで支払うなど、優秀な人材には相応の出費を惜しまない。ベトナムでは転職に対して心理的な抵抗感が小さく、他企業からの引き抜きも盛んなので、その対策という意味もある。さらに、社員旅行などを通じて親睦を深め、愛社精神を育てて社員の定着を図っている。



近藤昇社長は、アジア進出希望企業の視察旅行などを企画し、アジア各国へ頻りに飛んでいる。

会社概要 Company Data

ブレインワークス

【所在地】〒141-0031 東京都品川区西五反田6-2-7 ウエストサイド五反田ビル3F

【設立】1993年12月

【TEL】03-5759-5066

【資本金】11億7370万円(07年9月時点)

【連結売上高】11億9200万円(07年9月期)

【従業員】160人(グループ全体)

【事業内容】経営革新支援サービス、ネットワーク関連サービス、情報共有化・活用実践支援など

【URL】http://www.bwg.co.jp/

【現地法人】ジーエービーピーベトナム

【設立】2001年12月

ベトナムに進出した恩恵は、間接業務にも表れている。ブレインワークスでは、今までベトナム人などのアジア系IT技術者を日本で研修し、契約企業に派遣する業務も手がけてきた。日本での長期間研修には、それなりの費用が必要だったが、ベトナムでソフト開発技術と日本語を学ばせたらうで、日本に呼び寄せれば即戦力として活躍できる。

近藤社長は、06年に合併でITエンジニアをはじめとする技術者を養成する学校「SGBJ」をホーチミンに設立した。「急がば回れです。早急に業績を上げたたくても、時間をかけて人材育成に取り組まなければうまくいきません。自社の利益はもちろんです、ベトナム全体の人材



ブレインワークスは関連会社のカナリア書房からベトナムの企業やビジネスに関する書籍を出版している。